

要望書（回答）

ゼロカーボンシティ、再生可能エネルギーについて

1. 災害時の電力確保について

市民の安心・安全の確保のため、避難所に指定されている学校等に、太陽光発電等の再生エネルギーを用いた発電設備、大型蓄電池、非常用発電機等による電力確保を計画的に整備するようお願いいたします。

【回答】（市民生活課危機管理室 担当）

本市では、市内の小・中・高、大学 48 カ所を避難所に指定しており、各学校にガソリン式及びガスボンベ式の発電機を備蓄品として配備し、災害時の電力確保を図ってまいりました。

さらに胆振東部地震以降は、一部避難所へ移動可能な大型蓄電池の配備や、市内の自動車販売店とハイブリットカー活用に係る協定を締結するなど、さらなる強化を進めているところです。

本市としましても、避難所の環境整備における電力確保は重要と認識しており、引き続き有効な方法を模索しながら市民の安全・安全の確保に努めてまいります。

2. 公共施設の再生可能エネルギーの導入及び街路灯設置工事の継続発注について

2050 年ゼロカーボンシティ実現のため、再生可能エネルギーの普及について、積極的に公共施設への計画的な導入を行っていただき、街路灯設置工事は従来通りの発注をお願いいたします。

【回答】（環境衛生部環境保全課 担当）

公共施設への再生可能エネルギーの計画的な導入について、現在複数施設において、環境省事業を活用した太陽光発電の設置検討調査を行っております。今後、調査結果を基に各施設管理者と協議を行い、設置可能な施設につきましては順次設置を進めてまいりたいと考えています。

（都市建設部維持課 担当）

街路灯設置工事につきましては、次年度以降も引き続き、地元企業を活用した工事発注に努めてまいります。

発注工事について

1. 電気工事、電気通信工事における地元企業の活用

主要資材等の関係でメーカーに発注される工事、またプロポーザル、PFI 等による工事において地元企業が関われる公示内容での発注をお願いいたします。

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和4年12月16日

【回答】（財政部契約課 担当）

工事の発注につきましては、苫小牧市公契約基本方針に基づき、競争性を確保しつつ、地元企業の優先活用を図っておりますが、プロポーザルやPFI等の発注におきましても、施工協力会社の参加要件を地元企業に設定するなど、今後も担当課と協議し、地元企業の優先活用を図ってまいります。

2. 受注機会の増大及び早期発注について

近年発注件数が減少している電気工事について、大規模工事については分割発注など、発注件数を極力増やし受注機会の確保にご配慮して頂き、予算成立後の早期発注をお願いいたします。

【回答】（財政部契約課 担当）

工事の分離分割発注につきましては、苫小牧市公契約基本方針に基づき、適切かつ合理的な範囲で、可能な限りの分離発注に努めて参ります。

また、本市では、毎年、年度当初の4月に発注計画を示し、今年度は上半期で95%程度の目標発注率を設定して早期発注に取り組んでおります。

発注計画につきましては、補助事業の申請事務や、施工内容の見直し等により多少遅れる場合がございますので、御理解願います。

（都市建設部設備課 担当）

受注機会の増大につきましては、各年度で事業規模が変動いたしますが、今後も規模の大きい工事は複数に分離して発注するなど、可能な限り発注件数を考慮しながら、受注機会の確保に努めてまいります。

次に早期発注につきましては、施設利用制約がある工事を除いては可能な限り早期の発注に努めておりますが、今後も継続してまいります。

3. 分離発注継続

従来から分離発注推進の要望をしており、結果としてほぼ100%の発注状況となっておりますが、今後とも継続して分離発注継続に努めていただくようお願いいたします。

【回答】（都市建設部設備課 担当）

分離発注につきましては、これまでも可能な限り進めてきたところでありますが、今後につきましても、継続してまいります。